

Vectorworks サイトプロテクションネットワーク版-情報 1

## Mac 用サーバプログラムの自動起動（デーモン登録）

A&A

# 1. 概要

Mac 版の Vectorworks Network License Server は、Window 版のサービス登録のような「サーバアプリケーションを自動で起動する設定機能」をもっていません。

本ドキュメントでは MacOS 側の機能を利用して Vectorworks Network License Server を自動で起動させる方法についてご案内します。

「毎回、ターミナルから手動で起動したくない」「サーバ PC にログインせず Windows のように運用したい」という方におすすめする方法です。

# 2. 内容

本設定を行うことで Vectorworks Network License Server は以下のように動作します。

- ・ Mac を起動すると Vectorworks Network License Server が自動で起動し、以降はバックグラウンドで動作します。

※バックグラウンドで動作とは、

操作しているアプリケーションのように画面には出てこないところでアプリケーションが動作することを意味します。

- ・ Mac にログインをしなくても Vectorworks Network License Server が起動し、サーバ機能の使用や Vectorworks クライアントからの接続ができるようになります。

# 3. 注意点

- ・ 管理者権限のユーザでログインし作業を実行して下さい。
- ・ 本設定は Mac の基本的な機能を使用しています。Mac のアップデートや仕様の変更、不具合などにより使用できなくなる可能性があります。
- ・ 本ドキュメントの内容は、コマンドラインでの操作など複雑な手順が含まれます。MacOSX の基幹機能を把握されている方が行ってください。  
システム管理者やそれに相当する担当者が実施されることを推奨いたします。

## 4. 添付ファイル

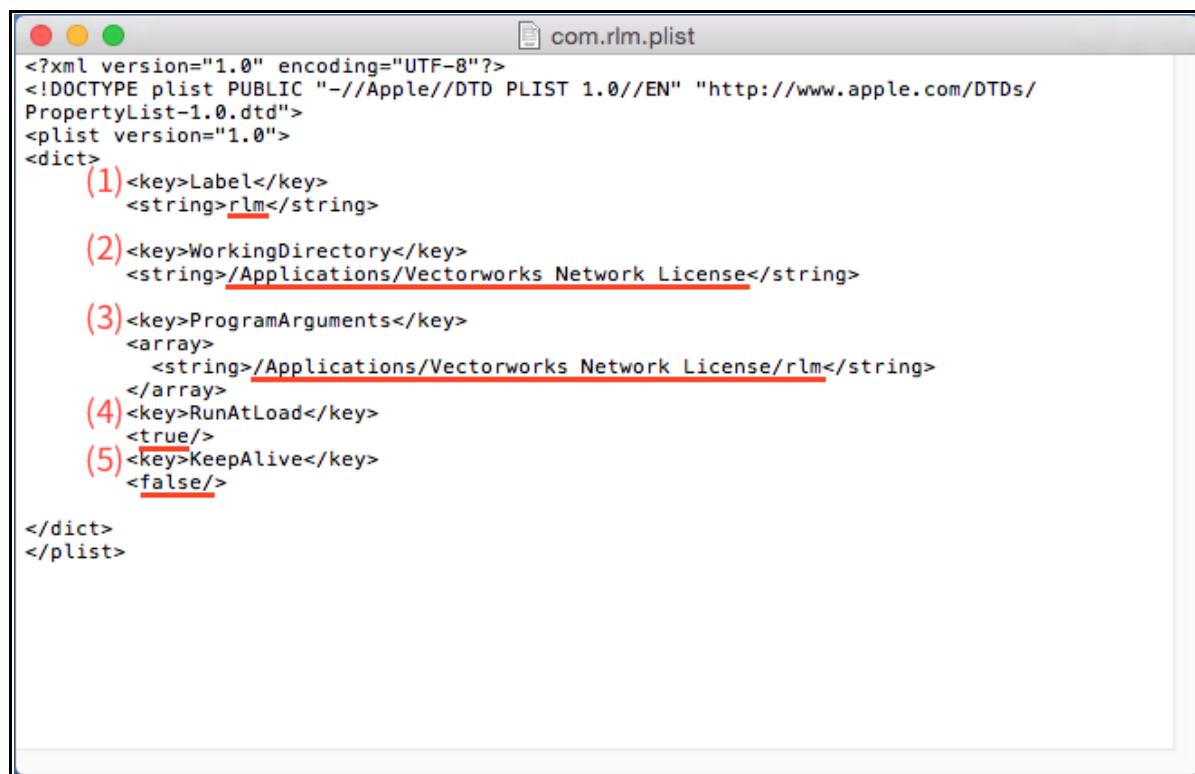
本圧縮ファイルに同梱しているファイルです。

◎com.rlm.plist

→自動起動に使用する設定ファイルです。必要に応じて中身を編集します。

## 5. 設定手順

- 1) com.rlm.plist をテキストエディットなどで開き、必要に応じて設定内容を編集します。編集後はファイルを保存して下さい。



(図1)com.rlm.plist ファイル内の記述

-plist ファイルで設定出来る項目（赤いラインが引いてある箇所を編集します）

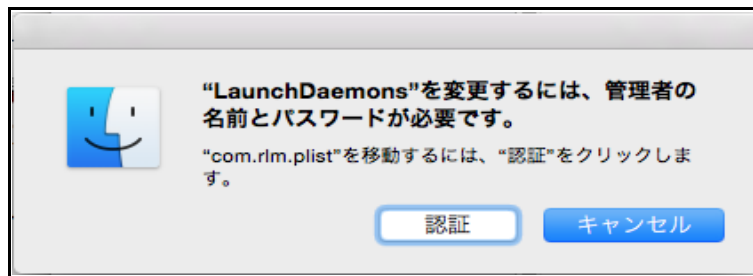
- (1) **Label** : 変更しないで使用して下さい。ジョブの名前。ファイル名もこのLabelに.plist という拡張子を付けたものになります。
- (2) **WorkingDirectory** : 動作する階層を定義します。Vectorworks Network License Server をインストールした階層（フォルダパス）を入力して下さい。
- (3) **ProgramArguments** : 実行するプログラムを定義します。  
Vectorworks Network License Server をインストールした階層（フォルダパス）と実行するプログラム（rlm）を繋げて入力して下さい。
- (4) **RunAtLoad** : 変更しないで使用して下さい。true にセットすると launchd に launchd.plist がロードされたタイミングで起動します。
- (5) **KeepAlive** : true にすると Vectorworks Network License Server が常に起動するように動作します。サービスを終了してもすぐ自動で起動するようになります。デフォルトでは false（設定しない）になっています。

- 2) com.rlm.plist を下記のフォルダにコピーします。コピーの際に PC 管理者の名前とパスワードが求められます（下図 2）。

フォルダ：/System/Library/LaunchDaemons/

※フォルダへの移動方法

- (1) Finder を開きます。
- (2) メニューから「移動」>「フォルダへ移動」を選択します。
- (3) 「フォルダの場所を入力」に上記のフォルダのパスを入力します。



(図 2)認証のメッセージダイアログ

- 3) com.plist.rlm ファイルに root 権限を付与します。

※root 権限を付与する方法

- (1) ターミナルを起動します。
- (2) LaunchDaemons フォルダに移動します。  
以下のコマンドを入力し、return キーを押下します。  
PC 名とコロン（:）の後ろに LaunchDaemons と表示されます（下図 3）。

```
cd /System/Library/LaunchDaemons
```

```
AandA-no-iMac:~ test $ cd /System/Library/LaunchDaemons
AandA-no-iMac:LaunchDaemons test $
```

(図 3)ターミナル上の表示

- (3) com.rlm.plist に管理者に root 権限を付与します。  
以下のコマンドを入力し、return キーを押下します。  
パスワード（Password）を求められるので入力し、return キーを押下します。  
\*パスワードは入力しても画面上に表示されません。  
\*コマンドを実行後、特にメッセージなどは表示されません。

```
sudo chown root:wheel com.rlm.plist
```

- 4) Mac を再起動して下さい。
- 5) 設定は完了となります。Mac の再起動後、下記の確認方法のいずれかで Vectorworks Network License Server の起動を確認して下さい。

## 6. 確認方法

- 1) アクティビティモニタで Vectorworks Network License Server が起動しているか確認します。

アクティビティモニタを使用することで、バックグラウンドで起動しているアプリケーションの確認ができます。

※アクティビティモニタの使用方法

- (1) アプリケーション>ユーティリティを開き、アクティビティモニタを起動します。  
(2) メニューから「表示」>「すべてのプロセス」を選択します。（下図4）



(図4)アクティビティモニタメニュー－表示

- (3) アクティビティモニタの一覧のプロセス名に「rlm」と「vektorwrx」があれば Vectorworks Network License Server は正常に起動しています。

- 2) Vectorworks Network License Server の Web 管理画面から起動を確認します。

※Web 管理画面の起動方法はマニュアルに記載しています。

上記、どちらかの方法で確認できれば Vectorworks Network License Server は正常に起動しています。

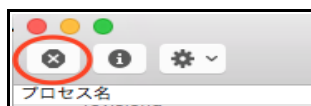
## 7. 自動起動の解除方法

何らかの理由により、登録した設定を削除する必要がある場合は、以下の手順をご参照下さい。

自動起動は com.rlm.plist を /LaunchDaemons フォルダから削除することで解除できます。

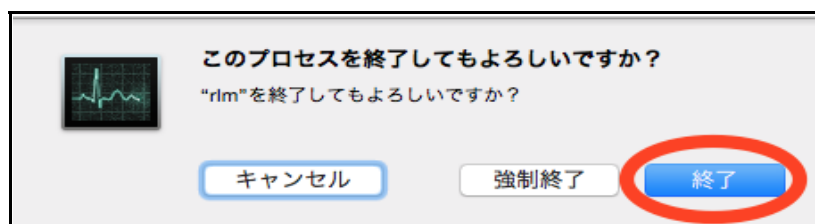
### ※解除の手順

- (1) アクティビティモニタを開きます。
- (2) 一覧のプロセス名の「rlm」を選択します。
- (3) アクティビティモニタ左上の3つあるボタンの一番左のボタン「プロセスを強制的に終了します」をクリックします（下図5）。



(図5)アクティビティモニター「プロセスを強制的に終了します」ボタン

- (4) 表示メッセージ（下図6）の「終了」ボタンをクリックして、rlmを終了します。



(図6)終了メッセージ

※「終了」ボタンをクリックしたあと、終了までに若干時間がかかります。

- (5) 「5. 設定手順」の2)に記載されている方法で /LaunchDaemons フォルダに移動して下さい。
- (6) com.rlm.plist を削除して下さい。  
コピーの時と同様に削除の際に PC 管理者の名前とパスワードが求められます。
- (7) 解除は完了となります。  
以降、Vectorworks Network License Server は自動で起動しなくなります。

- ・ Vectorworks®ソフトウェアは、Nemetschek Vectorworks Inc.の登録商標です。
- ・ Microsoft, および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Apple, Macintosh, Mac は、Apple Inc.の米国および各国での登録商標です。
- ・ その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。
- ・ 本ドキュメントの内容は予告なく変更される場合がございます。

## **Vectorworks サイトプロテクションネットワーク版-情報 1**

---

2015 年 06 月 08 日（初稿）

製作・発行  
エーアンドエー株式会社  
101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-15

**禁転載**